

【2020年9月分】

大使館からのお知らせ

【安全情報9月分】 当地報道より、殺人、強盗事件や自然災害など、先月9月に報じられた皆様の安全に係わる情報の概要をお知らせしています。

新型コロナウイルスについて

各国・地域における新型コロナウイルスの感染状況

https://www.anzen.mofa.go.jp/covid19/country_count.html

各国・地域における新型コロナウイルス感染症に係る入国制限措置と入国後の行動制限措置に関する状況

https://www.anzen.mofa.go.jp/covid19/pdfhistory_world.html

コスタリカにおいて風評被害を受けた場合、または被害を受けた邦人の情報がある場合には、在コスタリカ大使館までご連絡をいただきますようよろしくお願いいたします。

国際郵便の一部再開について

郵便公社は国際郵便（小包、書留郵便、通常郵便等）配送を一部再開しました。国際郵便物については、新型コロナウイルス蔓延の影響を受け、これまでの数カ月間コスタリカ発着の国際商用便の運休により配送ができない状況が続いていました。なお、現時点では週3回の配送となりますが、今後商用便の追加により、通常の国際郵便配達体制が復活することも見込まれています。詳細は郵便公社のホームページを参照下さい。

郵便公社：<https://correos.go.cr/envios-nacionales-e-internacionales/>

●サンホセ県

「25歳の男性と21歳の男性、銃で撃たれて死亡」(殺人事件)

9月8日午前8時、サンホセ市で、2件の銃撃戦がほぼ同時に発生した。現場は約4キロ離れているという。25歳の男性と21歳の男性が、それぞれ銃で撃たれて殺された。

「20歳の女性、銃で撃たれて死亡」(殺人事件)

9月16日午後8時、デサンパラス市で、20歳女性が車の助手席にいたところ、バイクに乗った男2人組に銃で撃たれて殺された。

「45歳の男性、刃物で刺されて死亡」(殺人事件)

9月16日午後7時半、エスカス市で男性2人が口論になり、1人が刃物を出して相手を刺した。被害者の45歳の男性は間もなく死亡した。犯人は逃走。

「33歳の男性、銃で撃たれて死亡」(殺人事件)

9月24日夜、コロナド市のガソリンスタンドで、33歳の男性が給油中のところを、バイクの後部座席に乗った男に銃で撃たれて殺された。犯人は宅配業者のカバンによく似たものを背負っていた。

「20歳の男性、銃で撃たれて死亡」(殺人事件)

9月24日夜、ゴイコエチエア市で、20歳の男女が歩いていたところ、バイクに乗った男2人にいきなり銃で撃たれた。男性は病院に運ばれたが死亡、女性は重体。

「23歳の男性、銃で撃たれて死亡」(殺人事件)

9月24日夜、デサンパラス市のサッカー場付近で、バイクに乗った男2人が近づいてきて発砲。23歳の男性が死亡、26歳の男性が重体。

「17歳の男性、銃で撃たれて死亡」(殺人事件)

9月26日夜、サンホセ市で17歳の男性が銃で撃たれて殺された。詳細は不明。

●リモン県

「外国人、マリファナを積んだボートで逮捕」(麻薬事件)

9月6日午後4時、モイン市から約50キロの沖で、2,047キロのマリファナをボートで密輸していたジャマイカ人2人とニカラグア人1人が逮捕された。

「27歳の女性、両手の指を切られ重傷」(傷害事件)

9月1日、シキーレス市で、27歳の女性が18歳と22歳の男2人に身柄を拘束され、両手の指を1本ずつ切られ、重傷を負った。容疑者2人は4日に逮捕された。被害者は麻薬中毒者で、麻薬絡みの犯行と見られている。

「犯罪組織のメンバー3人が逮捕される」

9月4日から、ポコシ市を中心に、35歳の男性（通称：ディアブロ）が率いる犯罪組織のメンバーを逮捕すべく、大規模な捜索が始まった。5日、エレディア県サラピキ市で、メンバー3人が逮捕された。3人は検問を無視して逃走し、警察に向かって発砲したが、間もなく逮捕された。車から武器や銃弾が押収されている。今回の捜索は、同組織のリーダーがソーシャルネットワークで「公安警察官を殺害した者には250万コロン、司法警察官を殺した者には500万コロンの賞金を渡す」と発言したことが起因となっている。

「28歳の男性、銃で撃たれて死亡」（殺人事件）

9月10日午後10時、グアシモ市で、28歳の男性が銃で撃たれて殺された。犯人は2人で、被害者の自宅に侵入して発砲した。麻薬密売の縄張り争いによる犯行と見られている。被害者は3週間前にも刃物で刺されて病院に運ばれたが、どこで誰に刺されたかは言わなかったという。

「コンテナに隠したコカイン500キロを押収」（麻薬事件）

麻薬警察は、モイン市の港で異常が見られたコンテナ4つを調べ、計506包（約500キロ）のコカインを発見した。コンテナにはバナナが積まれており、同港からベルギーに送られる予定だった。

●プンタレナス県

「37歳の男性、銃で撃たれて死亡」（殺人事件）

9月4日午後7時、プンタレナス市で、バイクに乗った男2人が、別のバイクで走行中の37歳の男性を銃で撃って殺害した。犯人の内1人が逃走中にバイクから落ち、間もなく病院で死亡した。

「33歳の男性、銃で撃たれて死亡」（殺人事件）

9月4日午後8時、プンタレナス市で、33歳男性が自宅前にいたところ、何者かに銃で撃たれて殺された。

「16歳の男性、銃で撃たれて死亡」（殺人事件）

9月7日午後9時半、プンタレナス市の道路で、16歳の男性が複数の友人といたところ、バイクに乗った男2人が近づいてきていきなり発砲して逃走した。被害者は即死した。

「550キロのコカイン積んだボート発見」(麻薬事件)

9月12日、オサ市コルコバード国立公園から20キロ沖で、沿岸警備隊は550キロのコカインを積んだボートを発見して捕まえた。乗っていたコロンビア人3人は逮捕された。

「43歳の男性、刃物で刺されて死亡」(殺人事件)

9月19日午後12時20分、ガラビト市の路上で、車から刃物で刺された2人が発見された。43歳の男性は死亡しており、37歳の男性は重体。車に同乗していた別の男が2人を刺したものと見られている。

●エレディア県

「男性2人、銃で撃たれて死亡」(殺人事件)

9月10日午後3時半、バルバ市の路上で、駐車中の車内で男性2人が会話をしていたところ、別の車が近づいてきて発砲。2人は銃弾を数発受けて死亡した。

「夫が妻を銃で撃ち殺害」(殺人事件)

9月19日、サンラファエル市で、夫婦がエレディア県サンラファエル市の自宅にいたところ、夫が妻の首を絞め意識を失わせた後、発砲して殺した。犯人は妻が死亡したことを確認後、妻が自殺したと見せかけるよう遺体を動かし、通報した模様。

「19歳の女性と4歳の娘、銃で撃たれてけが」(殺人事件)

24日午前零時、サラピキ市で、61歳の男性が自宅で殺された。犯人は2人組の男で、車で被害者宅までやって来て、ドアを破って中に入り、男性を銃で撃って逃走した。

●カルタゴ県

「18歳の女性殺害の容疑者、強姦と殺人を自白」(殺人事件)

パライソ市で3月4日から行方不明になっていた18歳の女性殺害容疑で逮捕された28歳の男は、4日、被害者を強姦した後、殴殺して崖に遺体を投げ捨てたと自白した。

●アラフエラ県

「ミニスーパーに二人組の強盗」(強盗事件)

9月12日、サンカルロス市のミニスーパーが2人組の強盗犯に襲われ、現金10万コロン、その場に居た経営者と客1人の携帯電話が奪われた。犯人は逃走し民家に身を隠していたが、目撃者が警察に通報したため、警察が犯人を民家から外に出し逮捕した。なお、その民家からは盗品が押収された。

「農場経営者の自宅に強盗が入る」(強盗事件)

9月19日午前7時前、アテナス市にある農場経営者の管理人の家に複数の強盗が押し入り、経営者の自宅の鍵を開けるよう強要した。犯人は家の中に入ると経営者の家族および家政婦を脅し、経営者以外はトイレに閉じ込めた。犯人は現金を要求したが、金庫の中には何も入っていなかったため、携帯電話数台、時計、指輪を奪って逃走した。

「ドローンを使ってアラフエラの刑務所に麻薬を運ぼうとした」(麻薬事件)

9月19日午後1時、アラフエラ市の刑務所の上空を飛んでいるドローンが発見された。調べたところ256グラムのコカインが張り付けてあり、何者かが刑務所内に麻薬を持ちこもうとした模様。

「41歳の男性、刃物で刺されて死亡」(殺人事件)

25日午前6時、サンカルロス市の道路で、41歳男性の刺殺遺体が発見された。遺体発見から6時間後、容疑者2人が逮捕された。容疑者は被害者と口論になり、刺したものと見られている。

●グアナカステ県

「140万ドル相当のコカインを発見」(麻薬事件)

ラクルス市カスエラス海岸の100m奥に入った茂みから、国境警察が長方形の包238個(約240キロ)のコカインを発見し司法警察に通報した。これは約140万ドル相当になる。

以上

◆ 大使館では皆さまからの情報提供をお待ちしています。◆
TEL : (506) 2232-1255
FAX : (506) 2231-3140
E-mail : japon-consulado@sj.mofa.go.jp (大使館領事班)
または ysuhiro.saito@mofa.go.jp (齋藤) まで